

# あなたの力が必要です！ 恵那市消防団



## 恵那市消防団

団員総数：929人  
基本団員：732人  
機能別消防団員：197人  
※令和5年4月1日在団人数



## 消防団員になれる条件

1. 恵那市内に居住し、又は勤務する者
2. 年齢18歳以上の者
3. 志操堅固で、かつ、身体強健な者



## 恵那市消防団はこんな活動をしています！

### ● 緊急時

火災の消火活動、土砂災害などの自然災害への対応、行方不明者の捜索など住民の安心安全のため地域に密着した活動をしています。

### ○ 平常時

災害に対応するため、日ごろから火災に対する訓練、器具・車両の点検、火災予防の広報活動や自治会行事の参加などを行っています。  
女性消防隊員があり、現在13名在籍しており救命講習や防災講話を行っています。

恵那市消防団には音楽隊・らっぱ隊・恵那トビはしご登り隊があり、恵那市内のイベントなどに参加し演技、演奏を披露しています。



詳しく知りたい方は恵那市消防本部消防団係まで ☎0573-26-0119

## 消防団員の立場

消防団員は、**特別職の非常勤**地方公務員です。(消防署職員は常勤の地方公務員)  
特別職の地方公務員なのでまったくの無報酬ではありませんが、限りなくボランティアに近い状況で地域の安全のために活動しています。(5年勤続より退職金制度あり)

## 消防(消防署、消防団)の任務

●火災から国民の生命、身体及び財産を保護する。  
●水害・災害または地震等の災害を防除し、およびこれらかの災害による被害の軽減を図る。  
消防団・・・郷土愛護の精神を基調とし、「自分たちの地域は自分たちで守る」を基本理念に、日夜仕事の傍らあらゆる活動を行っています。市町村の公的な消防機関であり、消防署と協力して火災、災害及び人命の救助に出動するとともに、火災予防の普及啓発活動等を行います。

## 消防団の特徴

### 普遍性

消防団は全国ほとんどの市町村で組織され市町村全域で活動し、どのような場所で火災が発生してもすぐに対応することが可能。

### 地域密着性

地域の住民が消防団員になっている場合がほとんどで、地域のつながりが深く様々な事情について精通している。

### 即時対応力

定期的に教育訓練を受け、消防に関する専門的な知識、技術を身につけている。

### 多面性

単に消防活動を行うだけでなく、火災予防の面でも住民指導、巡回広報などを実施し、地震及び風水害などの各種災害の防ぎょ活動に当たるほか、遭難者の捜索救助、各種警戒などの活動を行っている。

### 要員動員力

消防職員と比較しても圧倒的な人数の差(下記参照(消防団員：消防職員8：1))

### 広域運用性

消防団は大規模災害時には相互応援協定などによりその管轄区域を超えて広範囲な活動を行う。

## 県内の消防体制

消防本部数・・・22 消防本部(人員 2668 人)

消防団数・・・46 団(団員 21202 人)

## 恵那市消防団(団員929人)

## 消防団の主な活動

4月恵那市消防団入退団式

5月

6月恵那市消防操法大会

7月水防訓練

8月

9月恵那市消防団ブロック訓練

10月大規模災害隊訓練

11月秋の火災予防運動(広報活動)

12月年末特別巡視(12月28日～12月30日)

1月恵那市消防出初式

2月

3月春の火災予防運動

その他、操法大会に向けての訓練や救命講習など

## その他(自治会行事への参加等)

防火水槽の清掃・水入れ

自治会の防災訓練への参加

地元行事への参加等



## 恵那市消防団災害活動の様子

### ○風水害の活動

令和3年8月14日 室内に侵入した倒木・土砂の撤去作業



令和3年8月16日 民家内に流入した土砂等の撤去作業・土嚢設置作業



### ○火災活動 (令和4年中の恵那市内建物火災)





## 恵那市消防団訓練活動の様子

### 令和4年11月27日 恵那市消防団技術訓練（ブロック別消防訓練）

- 1 ブロック訓練（大井分団、長島分団、東野分団参加）
- 2 ブロック訓練（三郷分団、武並分団、山岡分団参加）
- 3 ブロック訓練（中野方分団、笠置分団、飯地分団参加）
- 4 ブロック訓練（岩村分団、上矢作分団参加）
- 5 ブロック訓練（明智分団、串原分団参加）



### 令和4年7月17日 恵那市消防団水防訓練実施



### 令和4年10月30日 恵那市消防団大規模災害隊訓練

